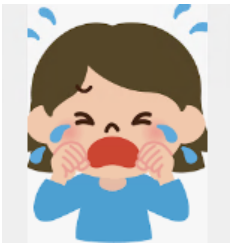
子育て支援センター

育児日誌　その 235



「子どもと病院」

最近、インフルエンザ予防接種や風邪、歯医者の定期健診など子どもを病院に連れて行く事が重なりました。

先月、小学校 6 年生の娘を歯医者に連れて行った時、いつもは表情一つ変えずに平気で治療を受ける娘がこの日はとても痛がり、苦痛そうでした。その姿を見ていると、3 歳の時の事を思い出しました。いつも泣き喚き、「痛い～」「イヤや～」と叫び、治療が終わると毎回汗だく…。そんな様子を見て歯科衛生士さんが「汗かいたら気持ち悪いから毎回服の着替えを持ってきてあげて下さいね」と言われていた事や、治療中に娘が先生に「もう、もう帰らしぇてくだしゃい～」と泣きながらお願いした事、一生懸命治療してくださっている先生に「きらいや～」など暴言を吐いて大爆笑された事…。色んな事があったなぁ～としみじみ思い出しました。

小学校 2 年生の息子も 3 歳の時、インフルエンザ予防接種を受けた時に事件（？）が起こりました…。姉が注射されているのを見て、『次は自分だ』と思ったのか、そ～っと診察室のドアに近付いていき、私が気付いたと同時に息子は猛ダッシュ！ぎりぎり入口前で捕まえて抱きかかえると、「ちゅ・ちゅかまった～（つかまった）」と叫び、先生と看護師さんに大爆笑されました。

その後、がんばって接種してもらいましたが、その病院では有名な話になってしまったようで翌年は「今年は逃げなかったね～」と褒めてもらい、さらに翌年からは「今年も逃げなかったね～」と褒めてもらっています。（笑）

その当時は、「いつになったらストレスなく病院に行けるんやろ…」「私だけがこんな苦労してるんではないか」など真剣に悩んだものです。

今現在、そう感じていらっしゃるお母さん方、大丈夫です！！子どもはすごいスピードでいろいろ吸収し、成長しています。今の私のように苦労した日々の事を笑って懐かしく思い出せる日が必ず来ます。その日までファイトです！！